

札幌市立新琴似北中学校

改築等基本計画

令和4年1月
札幌市

1 はじめに

札幌市立新琴似北中学校は、新琴似中学校からの分離新設により、昭和47年開校し、50年の歴史を積み重ねている。

校舎棟は、昭和47年に鉄筋コンクリート造地上4階建てで建設し、昭和48年から昭和51年にかけて4回増築している。屋内運動場棟は、昭和48年に建設している。

校舎棟、屋内運動場棟共に、施設の老朽化が進んでいることから、教育環境の改善を図り、今般の教育・学習に対応した施設を整備するため、令和6年度工事着手に向け、基本設計を行うものである。

2 沿革

昭和47年12月 開校、校舎棟建設

昭和48年12月 屋内運動場棟建設

昭和48、49、50、51年 校舎棟増築（計4回）

3 計画地の概要

新琴似北中学校は、札幌市中心部から北北西に直線で7.2km、地下鉄南北線麻生駅から北西に直線で1.7kmほどに位置している。校区の北部は防風林（ポプラ通中央緑地）に隣接しており、校区内は戸建住宅が多数を占め、閑静な住宅街である。

(1) 所在地 札幌市北区新琴似10条10丁目2番46号

(2) 敷地面積 19,297 m²

(3) 地域地区等

用途地域	第一種低層住居専用地域（建ぺい率50%、容積率80%）
防火地域	指定なし
日影規制	2時間・3時間
高度地区	北側斜線高度地区
その他	札幌市景観計画区域、埋蔵文化財の包蔵地外

(4) 都市設備 上水道、公共下水道、都市ガス

4 計画規模の概要

校舎棟 : 延べ面積 6,234 m²（うち給食室350 m²）

屋内運動場棟 : 延べ面積 1,337 m²（うち体育館開放用施設100 m²）

武道場棟 : 延べ面積 250 m²

- 既存施設規模及び解体が必須となる建物は、別添配置図のとおり。
- 校舎棟は延べ面積で700 m²程度の増築スペースを確保した計画とする。
- 仮設校舎は使用しないことを基本とするが、やむを得ず仮設校舎を使用する場合は、近隣への影響や工事スケジュールを考慮する。

5 通学区域

北区

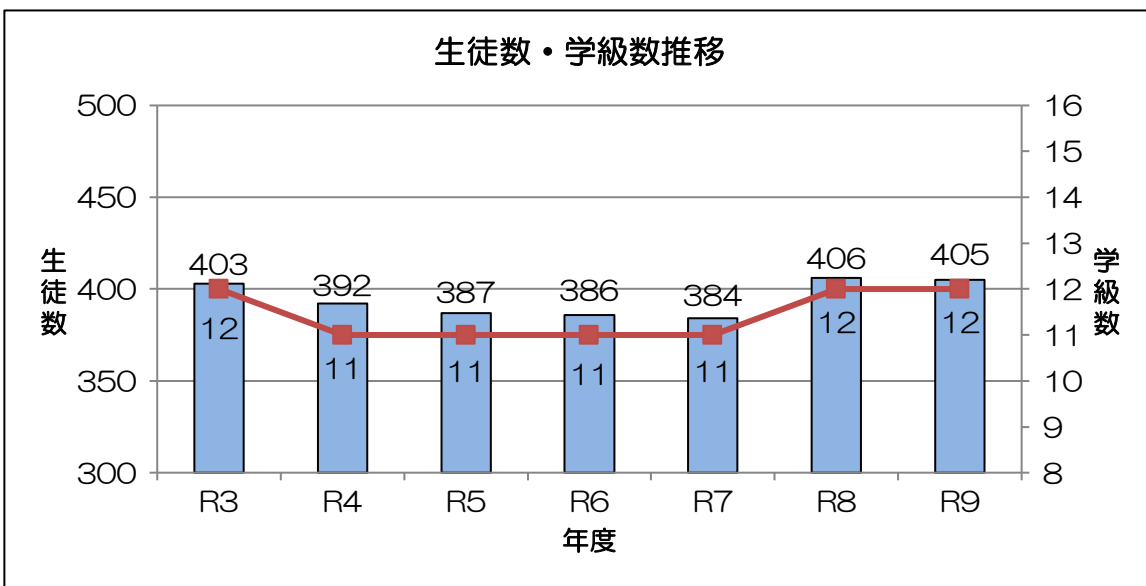
新琴似8条7丁目～17丁目 新琴似9条7丁目～16丁目
 新琴似10条7丁目～17丁目 新琴似11条7丁目～17丁目
 新琴似12条7丁目～17丁目 新琴似町766, 769, 770, 774, 775, 778～
 780, 784～786, 789, 790, 792～796, 998, 1001～1029, 1031,
 1032, 1034, 1035, 1152～1180番地

6 生徒数の推計

通学区域の生徒数については、概ね横ばいで推移すると見込んでいる。

令和3年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	133	144	126	11	414
学級数	4	4	4	2	14



※特別支援学級を除く

7 施設計画

施設整備の目標を基本とし、学校教育目標、事業などの特色を踏まえた施設を計画する。

(1) 施設整備の目標

ア 教育・学習方法の多様化の視点から

- (ア) 多様な学習形態、高度な教育機器の導入などに対応可能な施設を計画する。
- (イ) 児童生徒の自発的な学習活動を促し、新たな興味を引き出すことが出来る多様な空間の連続性がある施設を計画する。
- (ウ) 機能性、耐久性及び安全性を高めた施設にするとともに、潤いのある施設を計画する。

イ 豊かな生活環境の視点から

- (ア) 児童生徒が生き生きと学習に臨めるように、学校生活にリズムを与え、気持ちの切り替えが図れるゆとりと変化のある空間構成を計画する。
- (イ) 学年・学級の枠を越えた児童生徒間の日常的なコミュニケーションを活発にし、先生と身近で気軽な活動を生む開放的な雰囲気施設の計画する。
- (ウ) 学校に誇りと愛着を持ち、思い出に繋がる文化性、芸術性及び記念性を備えた個性的

な施設を計画する。

- (I) 児童生徒や教職員だけでなく、誰もが親しみをもち安全に利用できるようバリアフリーに配慮した施設を計画する。

ウ 地域連携の視点から

- (ア) 四季の変化に富んだ札幌の気候、風土または自然環境を楽しみ、愛着を持てる豊かな感性と人間性を育てる施設を計画する。
 - (イ) その地区、地域に対応した機能性と、特性、歴史及び敷地の特徴を反映することにより個性的で特色ある施設のデザインを計画する。
 - (ウ) 児童生徒の教育の場であると同時に、より多くの諸室が学校開放に利用できる構成とし、地域のコミュニティ施設、または生涯学習拠点のために機能する施設など、PTA活動やボランティア活動等が円滑にできる施設を計画する。

エ 環境配慮の視点から

- (ア) 自然エネルギーを活用するとともに、資源の有効活用を図り、環境と調和のとれた学校施設を計画し、環境教育にも活用できるような施設を計画する。
 - (イ) 環境への負荷の低減を図るなど、環境対策を講じるとともに、環境を考慮した学校施設『エコスクール』を取り込んだ施設を計画する。

(2) 学校教育目標など

ア 教育目標

明るい未来を創造し、豊かな社会の発展に寄与するため

- (ア) 自ら知識を求め 学ぶ態度を育てる。
- (イ) 自ら個性を伸ばし 豊かな心情を育てる。
- (ウ) 自らたくましい心とからだを育てる。

イ めざす生徒像

- (ア) 自分で自分を高めようと努力する生徒（知）
自分から進んで学習し、新しいことに挑戦しようとする意欲あふれる生徒
- (イ) 努力して、よりよい集団を築こうとする生徒（徳）
集団に埋没することなく、一人一人が個性的に生きようとする生徒
- (ウ) たくましい心とからだをもとうと努力する生徒（体）
心身を鍛え、体力を向上させようとする生徒
- (I) 人間らしさ、美しさに感動する生徒（情）
他人への思いやりや献身的な姿などにふれて感動する生徒

※ 参考：新琴似北中学校 HP【<https://www16.sapporo-c.ed.jp/shinkotonikita-j>】

8 整備内容

(1) 校舎棟

ア 普通教室：11 教室

イ 特別支援学習室：2 教室＋プレイルーム

ウ 特別教室：14 教室

第1・第2理科室、第1・第2音楽室、美術室、被服室、調理室、技術室（左記各準備室）、機械室、図書室、特別活動室、教育相談室、進路指導室、心の教室

エ 多目的室：3教室

多目的室、ICT 対応、少人数対応

オ 管理諸室

校長室、職員室、印刷室、保健室、PTA 室、用務員室、会議室、教材室、物品庫、除雪機置場、職員更衣室（男女別）

カ その他

ポンプ室、電気室、機械室、給食室、配膳車置場、エレベーター、トイレ（男子用、女子用、多目的、職員用）

※ 特別活動室、会議室は、普通教室に転用可能な配置とする。

(2) 屋内運動場棟

アリーナ、器具庫、更衣室、（男女別）、体育準備室、開放用玄関、指導員控室、開放用トイレ、備蓄庫

(3) 武道場棟

(4) 屋外環境施設

グラウンド用屋外物置

9 概算事業費

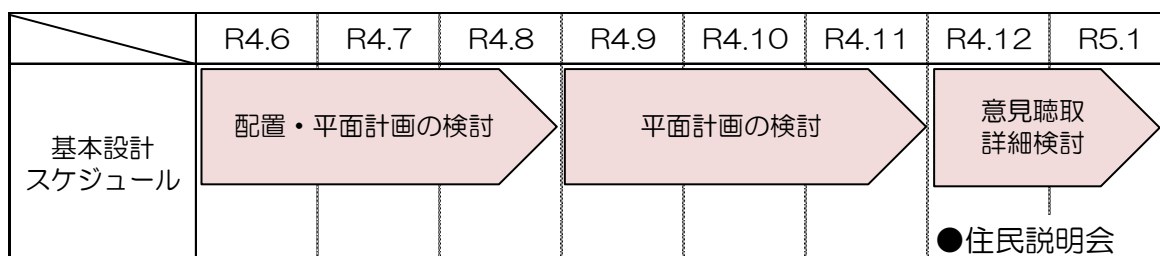
校舎等建設費 約 29 億円（仮設校舎を使用する場合は約 33 億円）

解体費 約 4 億円

グラウンド造成費 約 3 億円

10 基本設計の進め方と想定スケジュール

学校、PTA 及び地域の代表等と協議しながら基本設計案を作成する。また、保護者や地域住民を対象とした住民説明会を開催し、意見を聴く。



11 改築等想定スケジュール

